

肱川流域関係機関との情報共有による水防災の意識向上の取組

○肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会において、出水期前に重要水防箇所及び重点監視区間を、現地で確認(点検)し、万が一災害が起きた場合にも早急な対応及び連携を行うため関係機関がイメージを持って行動出来るようにする。

日時場所 : 平成30年5月18日(金) 9:30より 肱川・矢落川における重要水防箇所及び重点監視区間
主催 : 肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会
参加機関 : 大洲市、大洲警察署、大洲地区広域消防事務組合、松山地方气象台、大洲河川国道事務所

現地確認(点検)

- ・東大洲地区における過去の被害状況、二線堤やふれ愛パーク内の貯留施設、都谷川排水樋門の役割について担当者より説明を行った。
- ・堤防を利用した緊急輸送路の整備により、国道56号が冠水した場合でも大洲ICと堤防が接続されているため堤防上を通行し防災ステーション等まで災害対策車両のアクセスが可能となったことについて担当者より説明を行った。
- ・矢落川の重点監視区間では、過去に漏水があったことを担当者が説明、巡視時の重点監視を依頼した。
- ・その他、重要水防箇所や工事実施箇所について確認を行い、出水期前に関係機関と現地状況等について情報共有を図った。

東大洲地区における確認状況



新谷地区における確認状況

